

4. 山根家文書

山根氏は山口県萩市に在住する毛利家譜代の士である、累世藩の勘定方郡方、代官、奉行等をこもごも勤めた。幕末から明治にかけての当主山根恕は、明治維新以来の町政各方面に関与しているが、明治24年から萩町長となって7年間在任した。

寄贈の文書には経書、暦本、詩文等の図書が多かったが、勤向に用いたと見られる定法写、先例抜書、覚書、控等の資料を掲載する。

- 略系並伝記御判物奉書写
絵師 三谷兵兵衛 半紙33枚本綴 1冊
- 嘉永三戌年諸沙汰書写
半紙23枚本綴 1冊
- 内密書写（毛利家削封当時の御判物）
半紙23枚本綴 1冊
- 神君御遺状御宝蔵入百ヶ条写
半紙16枚本綴 1冊
- 御四冊 第一，二卷
半紙112枚本綴 2冊
- 御算用窮御仕方御改書写
半紙45枚本綴 1冊
- 白川侯御示書写
弘化3年 半紙24枚本綴 1冊
- 御布達写
25×75cm²袋入 1袋
- 明治二年九月藩籍封土御一新府藩覚其他拔書写
半紙16枚本綴 1冊
- 上（歴祖神君勲功略記）写
半紙34枚本綴 1冊
- 入官第一義写
塚田多門虎 半紙本綴 2冊
- 御究手控全（諸事究方とその事例集）写
半紙44枚本綴 1冊
- 腹（服）忌合便覽写
天保14年写 半紙33枚本綴 1冊
- 〔横目附加役銀付立〕覚
半紙3枚袋入 1袋
- 勤功書
志賀重之祐 巳3月 半紙5枚本綴 1冊
- 〔御徒目付手下異動〕覚
半紙6枚袋入 1袋
- 大江家系（御三家御一門家系）写

美濃14枚本綴 1冊

会津要害録

天保13年 半紙19枚仮綴袋入 1袋

濃州勢州川々普請被手伝一件之略書留

半紙四半25枚本綴 1冊

覚(履歴)

志賀伝兵衛 安政3年3月 半紙6枚本綴 1冊

写置並書拔

半紙88枚本綴 1冊

唾壺余片上下写

半紙10枚仮綴袋入 1袋

学夢草紙

半紙43枚本綴 1冊

能美榊齋子孫伝書写

半紙82枚本綴 1冊

公郷書簡写, 烈女略伝写, 其他

半紙56枚本綴 1冊

古今著門集, 附索問(筆書)

半紙63枚本綴 1冊

御役筋覚書

半紙10枚仮綴袋入 1袋

〔所見ヲ記シテ郷党ニ送ル〕書簡

在米 義亮 明治22年1月 便箋10枚仮綴袋入 1袋

身の鏡写

半紙36枚本綴 1冊

討奸檄写

慶応元年 半紙5枚本綴 1冊

奥平謙輔罪状書写

明治9年 半紙2枚仮綴袋入 1袋

小倉信一罪状書写

明治9年 半紙3枚仮綴袋入 1袋

前原一誠罪状書写

明治9年 半紙3枚仮綴袋入 1袋

草稿（時代事情を論ずる）

明治13年 半紙4枚袋入 1袋

鎌倉分限帳及秀吉時代分限帳写

半紙8枚本綴袋入 1袋

検見一件手控

天明元年 半紙16枚本綴 1冊

山代宰判諸給領上納米並定御扶持方之内を以て被召上候上納米附立

半紙12枚仮綴袋入 1袋

阿武郡地福村之内市井家御物成御米銀御皆済一紙

半紙2枚仮綴袋入 1袋

覚（御目付所御仕度）

半紙1枚袋入 1袋

社家御制法

万治2年 半紙6枚本綴袋入 1袋

寺院御制法写

万治3年 半紙11枚本綴袋入 1袋

自葬事略記写

角田忠行 半紙5枚本綴袋入 1袋

毛利歴世忌日略記全写

半紙6枚本綴袋入 1袋

句法管見筆書

半紙10枚仮綴袋入 1袋

〔浦賀守備詰より国許注進書〕

山本与右衛門 安政元年 半紙16枚本綴 1冊

明治九年騒擾中詩歌文蒐写

半紙24枚本綴 1冊

二月五日諸隊御意書写、付午の正月布達書

明治3年 半紙12枚本綴 1冊

覚（火事場出役相働）

半紙2枚袋入 1袋

安政二卯年四月盗人音之助御預被仰付候所出奔ニ付一件続以後心得筋急案書

半紙8枚本綴 1冊